

## 社会福祉法人青梅市社会福祉事業団 令和4年度事業報告

青梅市社会福祉事業団は青梅市自立センターの指定管理者として「青梅市自立センター条例」の設置目的に基づき「心身に障害がある者に対し、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう必要な支援を行ない、もって障害者の福祉増進を図ること」を目的に、青梅市と一体となって、利用者様の個々の年齢や障害特性等に応じた様々な支援サービスの提供に努めております。

当事業団が行っている主な事業は「生活介護」、「就労移行支援」、「就労継続支援」等に関することではありますが、令和4年度における特徴的な事項について下のとおり報告します。

まず、新型コロナウイルス感染症についてですが、今年度も感染対策に明け暮れた一年でありました。マスク着用、手指消毒、換気、検温等の基本的なことに加え、東京都や青梅市の補助を受けながら、衛生薬品の購入、PCR検査、抗原定性検査など必要な対策を継続的に講じてまいりました。

しかしながら、8月上旬、利用者様および職員複数名が新型コロナウイルスに感染していることが判明したため、施設設置者である青梅市と感染拡大防止について協議の上、8月10日から14日までの間、生活介護事業所の利用を停止いたしました。

その後は年度末まで、単発的に利用者様または職員の感染が確認されたものの、施設内で広まることはありませんでした。

また、利用者様および職員を対象としたワクチン接種については4回目接種を8月から9月にかけて、オミクロン株対応ワクチン接種は12月に診療機関の巡回により実施し、感染防止と重症化防止に努めました。

運営面においては、「運動会」や「ふれあいの集い」といった大きな行事は開催を見送りましたが、年度の後半には少しずつコロナ禍前の状態に戻すべく、就労支援事業所の日帰りバス旅行などの一部事業について、感染防止対策を図りながら、4年ぶりに実施いたしましたところ、多くの利用者様の笑顔に接することができました。

利用者様の工賃については、一部受託作業収入が堅調な伸びを見せているとともに、青梅市から受託している白ワイン用のブドウ（リースリング種）が9年ぶりの豊作であったことから、その売払い収入を工賃として例年以上に還元することができました。

老朽化した施設については、就労棟、生活棟とも雨漏りに悩まされてきましたが、青梅市により就労棟の屋上防水工事と生活棟の玄関付近の防水工事が施行され、以後快適に過ごすことができいております。

また、利用者様に提供している給食については、利用者様の健康管理上、大きなウェートを占めておりますが、近年、調理員の確保が難しく、安定した給食の提供が困難となったことから、献立作成や食材の発注を除いて、調理の部分に限り、年度途中から生活介護事業所は主に派遣職員により、就労支援事業所は委託業者が担ってまいりました。

新年度に向けては、給食の安定供給を継続させるため就労、生活両棟一括した給食調理業務委託の入札を行ない、業者の選定ができました。

そして今年度は、こうした本事業団が行っているサービスの内容や質について、果た

して適正に行われているか、公正・中立な第三者機関に評価してもらい、問題点を把握することにより、さらなるサービスの向上に結び付けたいという趣旨で、福祉サービス第三者評価を受けました。

評価方法は、利用者様本人（ご家族）へのアンケートと、聴取調査により、サービスに対する満足度や意向の確認が行われ、職員に対しては、自己評価をもとに組織体としてのマネジメントの力や提供しているサービスの質等がどのような状況であるかなどについて調査・分析してまとめられたものであります。

評価結果につきましては、利用者様および評価機関から概ね好評価をいただきました。

さらに、「社会福祉法」および「障害者総合支援法」にもとづき青梅市が行なっている「法人指導監査」および「施設実地検査」を受検（4回目）いたしました。

この監査は、社会福祉法人が適正な法人運営と円滑な事業経営の確保を図り、地域における社会福祉サービスの向上を図ることを目的として行われるもので、一部会計経理の処理方法や文書整理について改善するように指摘を受けましたが、既に指摘を受けた課題については大部分で改善しております。

今後も、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を効果的かつ適正に行い、利用者様が、心身ともに健やかに、日常生活を営むことができるよう支援してまいります。

## I 事業団事務局

- 1 名称 社会福祉法人青梅市社会福祉事業団
- 2 設立 平成5年3月29日東京都知事認可
- 3 住所 東京都青梅市今井5丁目2434番地の2
- 4 電話 0428-32-1631（事務局、指導課および自立センター）  
FAX 0428-32-6289（ ” ” ）
- 5 運営

青梅市から受託した青梅市自立センターの各事業所ならびに特定・障害児相談支援事業所「じりつ」の経営を円滑に実施するため、事業所間相互の有機的連携と、これらの事業所に対し中核的な機能を果たすように努めた。

- 6 役員、評議員、評議員選任・解任委員、第三者委員および職員

### (1) 役員

理事6名 監事3名（別表第1-1のとおり）  
任期2年（令和3年度の定時評議員会の終結の時から  
令和5年度の定時評議員会の終結の時まで）

### (2) 評議員

7名（別表第1-1のとおり）  
任期4年（令和3年度の定時評議員会の終結の時から  
令和7年度の定時評議員会の終結の時まで）

(3) 評議員選任・解任委員

3名（別表第1－2のとおり）

任期4年（令和2年度の定時評議員会の終結の時から  
令和6年度の定時評議員会の終結の時まで）

(4) 第三者委員

2名（別表第1－3のとおり）

任期2年（令和3年4月1日から令和5年3月31日まで）

(5) 職員 4名

事務局長 1名（常務理事兼務）

係長 1名

主事 2名

7 理事会

理事会は、業務決定機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	5月27日	1 令和3年度事業報告および決算報告 2 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 3 令和4年度第1回評議員会の招集について 4 理事長の職務執行状況の報告 5 常務理事の職務執行状況の報告 (出席者 理事6名 監事2名)
2	2月20日	1 専決処分の承認 2 法人指導監査および施設実地検査に伴う改善状況報告 3 評議員の評議員選任・解任委員会への解任の提案および評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 4 令和4年度資金収支補正予算 5 令和4年度第2回評議員会の招集について 6 給食調理業務の外部委託について 7 今後の理事会等の日程について (出席者 理事6名 監事3名)
3	3月23日	1 就業規則の一部を改正する規則 2 職員給与規程の一部を改正する規程 3 職員退職手当支給規程の一部を改正する規程 4 職員等の育児休業・介護休暇等に関する規則の制定 5 嘱託職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則 6 文書管理規程の一部を改正する規程 7 第三者委員の選任 8 令和5年度事業計画および資金収支当初予算 9 令和4年度第3回評議員会の招集について 10 理事長の職務執行状況の報告 11 常務理事の職務執行状況の報告 12 福祉サービス第三者評価の結果 (出席者 理事6名 監事3名)

4	3月27日 -決議省略-	1 令和4年度資金収支補正予算[第二次補正] 2 令和4年度第3回評議員会の招集について (同意者 理事6名 監事3名)
---	-----------------	--

## 8 評議員会

評議員会は、重要な業務決定事項の諮問機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	6月22日	1 令和3年度事業報告および決算報告 (出席者 評議員6名)
2	2月27日	1 令和4年度資金収支補正予算 (出席者 評議員6名)
3	3月28日	1 令和4年度資金収支補正予算[第二次補正] 2 令和5年度事業計画および資金収支当初予算 3 福祉サービス第三者評価の結果 (出席者 評議員6名)

## 9 連絡・調整

各事業所および青梅市との連携を緊密にし、事業計画、予算・経理・決算、事業報告、人事その他運営一般に関する事項等、理事会の方針の周知徹底を図った。

## 10 監査会

第回	期 日	概 要
1	5月18日	令和3年度の理事の職務の執行について監査を実施した。 (出席者 監事3名)

## 11 評議員選任・解任委員会

第回	期 日	概 要
1	6月6日	1 評議員の選任 (出席者 委員3名)
2	2月24日	1 評議員の解任および選任 (出席者 委員3名)

## 12 中期計画

当事業団は、5年後における事業団のあるべき姿を表し、職員が一致協力して業務を遂行し、支援の充実と、安全・安心の確立を図った。

さらに、国の動向を注視していくとともに、事業団として可能性があるものについて検討した。

(1) 期 間 令和元年度から5か年間

(2) 内 容 (令和4年度)

ア 事業関係

(ア) 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」

- a 今年度は計画相談101件、計画相談（モニタリング）90件を実施した。

(イ) 青梅市自立センター

- a 事業の充実について

利用者の状況に合わせて、個別支援などの充実を図った。継続して検討していく。

イ 利用者関係

(ア) 行事

全体行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、運動会・ふれあいの集いを共に中止とした。部門行事については、近場でのドライブや外出を実施したが、新型コロナウイルス感染症のため、一部変更もあった。なお、全体行事については、今後も委員会で検討を継続していく。

(イ) 送迎サービス

送迎業務については、業者委託によるバス4台と、職員による小型リフト車2台と小型車1台の運行を実施した。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自主通所者に於いても送迎バスを利用する対応を行ってきたが、前年度より自主通所を再開した。しかし、再開に不安のある方については継続して送迎バスを利用する対応を行った。また、利用者の車椅子での乗降の増加、乗降場所の変更など状況の変化に応じて検討した。

(ウ) 家族の参画

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個別面談では電話や家庭訪問・来所していただくかの選択にて実施をし、班別懇談会・保護者参観は中止となった。全体懇談会においては実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により書面での報告となった。

ウ 職員関係

(ア) 目標設定と人事評価

年度目標の設定と自己評価を行い、職員のスキルアップに向けて意識改革に努めていたが、今年度より職員の資質および能力の向上を図るとともに、人事評価を客観的に行う事を目的として人事評価制度を導入した。

(イ) 給食について

嗜好調査を実施し、アレルギーの確認やリクエスト食など参考にし、給食については会議にて話し合い、食中毒等の事故をおこすことなく食事の提供が行えた。しかし、年度途中より職員の体制が整わず一部業者委託にて提供を行った。次年度からは業者委託にて実施していく。

(ウ) 文書管理システムの構築

文書管理委員会においては、継続して文書類を精査した。また、文書処理カードの導入をした。

(エ) 委員会の設置

今年度については、内容を検討して次年度の作成時に反映させた。

エ 防災・防犯関係

(ア) 防災について

自衛消防訓練を継続し訓練を重ねたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、前半は避難誘導想定訓練に置き換え、後半には通常の避難誘導訓練に感染予防に配慮した対応で実施した。災害後の事業継続計画（BCP）については、青梅市の災害計画を基に連携を取りながら検討していく。

(イ) 防犯について

不審者対策など、安全面での整備については、今年度、防犯カメラの設置を行った。

13 事業団職員数および職員配置

職 員 49名

職員配置 別表第2のとおり

別表第1-1

役員および評議員名簿

令和5年3月31日現在

	フリガナ 氏 名	就任年月日	任 期	職 業 等
理事長	イケダ ヒロシ 池 田 央	令和3年6月28日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	元青梅市副市長
副理事長	マスダ ヒロシ 増 田 博 司	令和4年1月27日	自 令和4年1月27日 至 令和5年度 定時評議員会終結時	青梅市健康福祉部長
常務理事	シマザキ マサユキ 島 崎 昌 之	令和3年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団事務局長
理 事	カネコ リヨシ 金 子 典 由	平成30年8月27日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉協議会会長
理 事	ウチヤマ サトシ 内 山 敏	令和3年6月28日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人友愛学園 事務局長
理 事	マシコ マスミ 増 子 ますみ	令和2年6月25日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会会長
監 事	ヤタバ マサヒサ 谷田部 祐 久	令和3年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
監 事	マチダ チョウセイ 町 田 長 生	令和元年6月27日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	税理士

監事	サシダ オサム 指田 修	平成29年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団元役員
評議員	フジモト トシ 藤本 稔 巳	令和元年5月23日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人天使園 特別養護老人ホーム 青梅天使園施設長
評議員	アキバ ヒサオ 秋葉 久夫	令和5年2月24日	自 令和5年2月24日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市民生児童委員合同 協議会理事
評議員	シノダ マサノブ 篠田 昌信	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自治会第11支会 支会長
評議員	カゲヤマ マサカズ 影山 正和	平成23年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	今井五丁目自治会顧問
評議員	アライ ミホコ 新井 美芳子	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会副会長
評議員	タムラ キヨコ 田村 紀代子	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会副会長
評議員	サイノウ タケン 斎藤 剛	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市 障がい者福祉課長

## 別表第1-2

### 評議員選任・解任委員名簿

令和5年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
評議員選任・ 解任委員	ヤタベ マサヒサ 谷田部 祐久	令和3年4月1日	自 令和3年4月1日 至 令和6年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
評議員選任・ 解任委員	タカノ トシ 高野 敏巳	平成29年2月24日	自 令和2年度 定時評議員会終結時 至 令和6年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団指導第二課長
評議員選任・ 解任委員	オカモト トミオ 岡本 富郎	令和2年6月25日	自 令和2年度 定時評議員会終結時 至 令和6年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団第三者委員

## 別表第1-3

### 第三者委員名簿

令和5年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
第三者委員	オカモト トミオ 岡本 富郎	令和2年2月20日	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日	元青梅市障害者 サポートセンター施設長
第三者委員	ハラ トシオ 原 俊雄	令和3年4月1日	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日	元養護学校教諭

## 別表第2

## 職 員 配 置 表

令和5年3月31日現在

事務局（本部）			※ 実数 4名
（事務局 長）	島崎 昌之	（常務理事兼務）	
（係 長）	伊藤 栄治		
（主 事）	長谷川 晋	本木 明美	
指導第一課			※ 実数 8名
（課 長）	藤野奈穂美	（就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務）	
（課 長 補 佐）	大栗 重幸	（就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務）	
（係 長）	井上あゆみ	（就労移行サービス管理責任者兼務）	
	櫻木 真人	（就労継続サービス管理責任者兼務）	
	原島 康二		
（嘱 託 医）	瀧川 牧人		
（看 護 師）	小池 絵美		
（栄 養 士）	下笹由紀子		
指導第二課			※ 実数 4名
（課 長）	高野 敏巳	（生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者兼務）	
（課 長 補 佐）	西ヶ谷 薫	（生活介護事業所副管理者、生活介護サービス管理責任者兼務）	
（係 長）	大野 孝行	島津 聡子	
就労支援事業所（就労移行支援）			※ 実数 2名
（管 理 者）	藤野奈穂美	（課長兼務・指導第一課所属）	
（副 管 理 者）	大栗 重幸	（課長補佐兼務・指導第一課所属）	
（サービス管理責任者）	井上あゆみ	（係長兼務・指導第一課所属）	
（就 労 支 援 員）	茂木 洋明		
（職 業 指 導 員）	田中 泰行	（生活支援員兼務）	
（生 活 支 援 員）	田中 泰行	（職業指導員兼務）	
就労支援事業所（就労継続支援B型）			※ 実数 10名
（管 理 者）	藤野奈穂美	（課長兼務・指導第一課所属）	
（副 管 理 者）	大栗 重幸	（課長補佐兼務・指導第一課所属）	
（サービス管理責任者）	大栗 重幸	（課長補佐兼務・指導第一課所属）	
（サービス管理責任者）	櫻木 真人	（係長兼務・指導第一課所属）	
（主 事）	伊藤 栄治	（係長兼務・事務局所属）	
	本木 明美	（事務局所属）	
（職 業 指 導 員）	櫻木 真人	（係長兼務・指導第一課所属）	
	須崎 浩文	皆川 香	坂本 文代
	庭野美千代		土方 宏子
（生 活 支 援 員）	原島 康二	（係長兼務・指導第一課所属）	
	山本そのみ	（相談支援専門員兼務）	
	八木 美和	鮫島留津子	西田 信枝
（栄 養 士）	下笹由紀子	（指導第一課所属）	
（調 理 員）	朱通 秀代		



生活介護事業所（生活介護）	※ 実数 15名
（管 理 者）	高野 敏巳（課長兼務・指導第二課所属）
（副 管 理 者）	西ヶ谷 薫（課長補佐兼務・指導第二課所属）
（サービス管理責任者）	西ヶ谷 薫（課長補佐兼務・指導第二課所属）
（主 事）	長谷川 晋（事務局所属）
（生 活 支 援 員）	大野 孝行（係長兼務・指導第二課所属） 島津 聡子（係長兼務・指導第二課所属） 篠原 初美（相談支援専門員兼務） 小山 克之（相談支援専門員兼務） 川杉ひろみ 原島 秀子 茂木 純子 吉原 愛典 榎本恵一郎 佐野 萌 白取 督康 長谷見純一 峯邑 尚子 横川 良恵 稀代英津子 今野 宏江
（看 護 師）	小池 絵美（指導第一課所属）
（臨 時 運 転 手）	川杉 和弘
福祉農園	※ 実数 6名
（作 業 員）	久保田栄一 志村 英明 久保田義弘 町田 芳信 吉田 伸男 吉永 堅一
特定・障害児相談支援事業所（特定相談支援・障害児相談支援）	※ 実数 0名
（管 理 者）	藤野奈穂美（課長兼務・指導第一課所属）
（副 管 理 者）	高野 敏巳（課長兼務・指導第二課所属）
（相 談 支 援 専 門 員）	篠原 初美（生活支援員兼務・生活介護所属） 小山 克之（生活支援員兼務・生活介護所属） 山本そのみ（生活支援員兼務・就労継続支援B型所属）

## II 事業団指導第一課

指導第一課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター就労支援事業所と、障害者総合支援法および児童福祉法にもとづく事業所である特定・障害児相談支援事業所「じりつ」を所管、利用者を取り巻く様々な環境的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げを図る等により、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスを提供した。

また、自立センターで提供する給食サービスでは、利用者の嗜好や栄養のバランスおよび安全性に配慮した栄養管理業務を行った。

さらに、自立センターの火災の予防および火災、地震その他の災害等による人命の安全および被害の軽減に向けた訓練を実施した。

- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 1 職 員   | 8名                               |
| 課 長     | 1名（就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務） |
| 課 長 補 佐 | 1名（就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務）  |
| 係 長     | 1名（就労移行サービス管理責任者兼務）              |
|         | 1名（就労継続サービス管理責任者兼務）              |
|         | 1名                               |

嘱 託 医	1名
看 護 師	1名
栄 養 士	1名

### Ⅲ 事業団指導第二課

指導第二課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター生活介護事業所を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げなどにより、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスの提供に努めるとともに、利用者や家族等からの相談・苦情等について、適切かつ円滑・円満な対応に努めた。

また、利用者の医療については、個々のニーズが多様であるため、外部医療機関や嘱託医および看護師との連携を図りながら職員の医学的知識を高め、緊急診療や急性疾患に対する発見・処置を適切に行えるよう保健衛生の推進・充実にあたるとともに、事業所内における医療的ケア（吸引）を実践した。

さらに、運営基本方針の周知徹底や事業所間の連絡調整、職員研修の実施などにより、職員のスキルアップおよび業務の円滑な遂行等に努めた。

1 職 員	4名
課 長	1名（生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者）
課 長 補 佐	1名（生活介護事業所副管理者兼務、生活介護サービス管理責任者兼務）
係 長	2名

### Ⅳ 青梅市自立センター

就労支援事業所では、障害者総合支援法にもとづき、原則として18歳以上の一般就労を希望する障害者に対して、定められた期間にわたり職場実習の提供、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、一般企業等への就職に必要な知識および能力の向上のための訓練等を行った。また、一般企業に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を継続して提供するとともに、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上に向け訓練等を行った。

生活支援事業所では、18歳以上で常時何らかの介護が必要な障害者に対し、日常生活支援を中心に社会適応支援・創作活動や生産活動への支援やリハビリ支援の提供を行い日常生活行動の充実を図った。

1 事業所概要	
敷 地	9,070㎡
構 造	鉄筋コンクリート造2階（一部3階）建
建物・定員	就労支援事業所 1767.78㎡
	就労移行支援 6名
	就労継続支援B型 74名

生活介護事業所 1524.20㎡  
生活介護 35名

2 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 在籍利用者数

種 別	男 性	女 性	合 計
就労移行支援	3名	3名	6名
就労継続支援B型	46名	23名	69名
生活介護	17名	14名	31名
合 計	66名	40名	106名

(2) 入退所者

入 所 者 2名（女性2名）

退 所 者 3名（男性3名）

※ 自立センター内の契約変更者、3月31日付退所者を除く。

(3) 手帳所持者数

愛の手帳所持者 男性55名 女性35名 合計90名

身障手帳所持者 男性30名 女性20名 合計50名

精神手帳所持者 男性 0名 女性 3名 合計 3名

(4) 全体平均年齢

男性42.5歳 女性43.2歳 全体42.7歳

3 青梅市自立センターの主な行事等

期 日	主 な 行 事	場 所
4月1日	新規職員2名（調理員1名・運転手1名）	自立センター
4月1日	契約変更者6名（移行から継続3名、継続から移行3名）	〃
4月1日	青梅市社会福祉事業団新年度事業開始 利用者 就労支援事業所 就労移行支援 現員 6名 就労継続支援B型 現員 68名 生活介護事業所 生活介護 現員 33名 合計 107名	〃
4月1日	新年度事業準備（利用者春季休業）	〃
4月4日	年度始め式 日本財団福祉車両助成事業によるキャラバン（車いす対応）お披露目式	〃
5月31日	退職者1名（調理員）	〃
6月27日～7月1日	ぶどう笠かけ作業期間（期間中延べ5日間・122名参加）	〃
6月30日	退職者2名（支援員1名・調理員1名）	〃
7月6・7・8日	就労部門夏季レクリエーション会（智光山公園他）	智光山公園他
7月15日	生活部門夏季レクリエーション会（ドライブ他）	青梅市内他
7月23日	退所者1名（他施設）	自立センター
8月24日	ぶどう収穫祭（ワイン用ぶどう4,165kgを収穫・106名参加）	〃
9月9日	生活部門バスハイク代替レクリエーション会（ドライブ他）	高速道路他
9月30日	胸部レントゲン撮影実施	自立センター
9月30日	退職者1名（調理員）	〃
10月1日	新規職員1名（支援員）	〃

10月14日	心電図検査実施(40歳以上・42名実施)	自立センター
10月10日	退所者1名(他施設)	〃
10月31日	退所者1名(他施設)	〃
11月14日	新規入所者1名(就労継続B型)	〃
11月30日	第三者委員の活動(受入れから通常活動視察)	〃
12月5~9日	青梅ハート展示会(自主生産品の展示・即売・即売:6日)	青梅市役所
12月8日	生活部門冬季レクリエーション会(きりんのたまごお弁当他)	自立センター
12月13・15・16日	就労部門冬季レクリエーション会(飲み物) ※コロナウイルス抗原検査にて陽性確認、感染拡大を懸念し中止	〃
12月29日~	冬季休業	〃
1月3日		
1月1日	新規職員1名(農園作業員)	〃
1月25日	ワイン「ボッパルトの雫」販売	市内酒屋
2月20日	新規入所者1名(就労継続B型)	自立センター
3月3・29日	就労部門日帰旅行(茨城県自然博物館)	茨城県自然博物館
3月6日	文書管理委員会	自立センター
3月9日	就労部門家族全体懇談会(書面開催)	〃
3月13日	生活部門家族全体懇談会(書面開催)	〃
3月31日	退所者(在宅)	〃
3月31日	退職者2名(支援員1名・調理員1名)	〃
3月31日	令和4年度事業終了	〃
毎月	幹部会議	〃
毎月	職員会議(各部門)	〃
毎月	厨房給食会議	〃
毎月	健康診断(総合健康診断年2回含む)	〃
毎月	機能訓練『理学療法・作業療法』	〃
毎月	工賃配分(就労)	〃
毎月	班別活動(生活)	〃
毎月	音楽活動(生活)	〃
隔月	係長会議	〃
隔月	現場調整会議	〃
隔月	自衛消防訓練(自衛消防総合訓練年1回含む)	〃
隔月	利用者放談会(就労)	〃
随時	利用者および職員PCR検査(5回)	〃
随時	職員抗原検査(週2回)	〃
随時	職員研修(オンラインWeb研修含む)	研修センター等
随時	支援会議	自立センター
随時	班別会議	〃
随時	個別支援検討会議	〃
随時	評定会議(就労)	〃
随時	ケース会議(生活)	〃
随時	危機管理委員会	〃
随時	業務標準化マニュアル検討委員会	〃
随時	送迎業務検討委員会	〃
随時	サービス向上委員会	〃
随時	作業に関する検討委員会	〃
随時	パソコン管理委員会	〃
随時	研修担当	〃
随時	ボランティア担当	〃
随時	医療的ケア実施検討委員会	〃
随時	運動会検討実行委員会	〃
随時	ふれあいの集い検討実行委員会	〃
随時	新型コロナウイルス感染症対策委員会(14回)	〃
随時	機関紙「自立」の発行	〃

随時	職員ストレスチェックの実施 (42人)	自立センター
随時	産業カウンセラーによる職員へのカウンセリングの実施 (5回、延べ9人)	〃
随時	武州交通興業との合同会議	〃
年4回	青梅市担当課と幹部との合同会議	〃
年4回	家族会役員と幹部との合同会議	〃
年6回	クラブ活動 (就労)	〃
年4回	課外活動 (生活)	ドライブ等
年5回	ゆとりの時間 (生活)	自立センター
年4回	作業褒賞 (生活)	〃
年1回	事業団機関誌「ふれあい」第23号発行	社会福祉事業団
年間	福祉サービス第三者評価を実施 (特定非営利活動法人福祉推進機構アシスト)	〃

#### 4 就労支援事業所

##### (1) 就労移行支援

##### ア 定員と職員

定員 (実数)	6名 (6名)
職員 (実数)	6名 (2名)
管理者	1名 (課長兼務・指導第一課所属)
副管理者	1名 (課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名 (係長兼務・指導第一課所属)
就労支援員	1名
職業指導員	1名 (生活支援員兼務)
生活支援員	1名 (職業指導員兼務)

##### イ 障害の程度と年齢 (人数)

###### <愛の手帳>

###### <身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性		1	1		2	1					1
女性			1	2	3						0
計	0	1	2	2	5	1	0	0	0	0	1

###### <精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性					1		1		1		3
女性				1	1		1				3
計	0	0	0	1	2	0	2	0	1	0	6

平均年齢 男性46.9歳 女性40.3歳 全体43.6歳

(2) 就労継続支援B型

ア 定員と職員

定員(実数)	74名(69名)
職員(実数)	19名(10名)
管理者	1名(課長兼務・指導第一課所属)
副管理者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(係長兼務・指導第一課所属)
主事	1名(事務局所属)
	1名(事務局所属)
職業指導員	6名(うち1名係長兼務・指導第一課所属)
生活支援員	5名(うち1名係長兼務・指導第一課所属、1名 相談支援専門員兼務)
栄養士	1名(指導第一課所属)
調理員	1名

イ 障害の程度と年齢(人数)

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性		10	22	5	37	9	8	2			19
女性		5	11	3	19	1	5	3	1	1	11
計	0	15	33	8	56	10	13	5	1	1	30

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					
女性	1	1	1		3
計	1	1	1	0	3

年齢	18~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~	計
男性		3	5	6	4	5	9	4	8	2	46
女性		1		1	4	9	2	4		2	23
計	0	4	5	7	8	14	11	8	8	4	69

平均年齢 男性43.2歳 女性44.6歳 全体43.7歳

5 生活介護事業所

(1) 生活介護

ア 定員と職員

定員(実数)	35名(31名)
職員(実数)	22名(15名)
管理者	1名(課長兼務・指導第二課所属)

副管理者 1名（課長補佐兼務・指導第二課所属）  
 サービス管理責任者 1名（課長補佐兼務・指導第二課所属）  
 主事 1名（事務局所属）  
 生活支援員 4名（うち2名係長兼務・指導第二課所属、2名  
 相談支援専門員兼務）  
 12名  
 看護師 1名（指導第一課所属）  
 臨時運転手 1名

イ 障害の程度と年齢（人数）

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性	1	15			16	6	1	1	1	1	10
女性	3	10			13	5	3		1	0	9
計	4	25	0	0	29	11	4	1	2	1	19

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性			2	5	2	2	4	1		1	17
女性			3	1	2	2	3		3		14
計	0	0	5	6	4	4	7	1	3	1	31

平均年齢 男性39.7歳 女性41.4歳 全体40.5歳

ウ 福祉公開講座

講座内容	講師	開催回数	参加延人員	備考
音楽療法	吉野 良子 氏	12回	185名	新型コロナウイルス感染症対策をとりつつ1年間開催した。
ビーズアクセサリ	明田川冬子 氏	0回	0名	新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。また、令和5年度より12回開催する予定。
折紙教室	加藤 和子 氏	0回	0名	新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。また、講師の都合により令和4年度末をもって講座終了となった。

6 自立センター就労支援事業および作業支援事業

○ 就労支援事業

受託作業      ベアリング等車両部品組立  
                  寝装具類包装・梱包  
                  不動産事業者の賃貸物件等清掃・除草  
                  福祉施設清掃業務、自立センター清掃業務受託  
                  青梅市内公園清掃業務受託

自主生産作業

印刷：封筒・名刺等の印刷  
 木工：各種木工芸品の製作と販売  
 陶芸：和陶器の製作と販売  
 農園：ワイン用ぶどうの栽培  
 サイクル：牛乳パックリサイクル品販売  
 青梅市役所喫茶コーナー運営への参画

就労支援

総合体育館受付業務実習（3名）  
 青梅市役所喫茶コーナー業務実習（1名）

○ 作業支援事業

牛乳パック手すきハガキの製作  
 ビーズクラフト製品の製作  
 自動車部品加工  
 菓子箱の仕切り折り  
 食品ビニール袋のシール貼り  
 ワイン用ぶどうの栽培作業協力

7 自立センター福祉農園事業

- (1) 職員            作業員6名  
 (2) 作業内容      ワイン用ぶどうの管理・栽培

8 成木2丁目ぶどう植樹地管理事業

- (1) 管理場所      青梅市成木2丁目416番地の1  
 (2) 管理内容      葡萄の木の育成管理  
 (3) 管理方法      成木農業者振興会へ委託  
 (4) 管理日数      延べ40日  
 (5) 管理人員      延べ544名

9 事故報告

報告内容	件数	備考
施設設備損壊	1件	
什器破損	4件	



他害	3件	利用者間で発生したケースと職員が利用者から受傷したケースあり。
転倒	1件	
その他	2件	利用者発病による救急搬送
支援以外の内容	4件	セコム未セット・非常ベル鳴動・書類置き忘れ 等
年間合計報告件数	15件	

## V 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」（特定相談支援・障害児相談支援）

特定・障害児相談支援事業所「じりつ」が行う特定相談支援事業および障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために人員および管理運営に関する事項を定め、事業所の職員が、障害者、障害児および保護者に対し、適正な特定相談支援および障害児相談支援が行えるよう努めた。

### 1 対象者

- (1) 18歳以上の障害者（知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病対象者）
- (2) 18歳未満の障害児（知的障害児・身体障害児）

### 2 職員（実数）

5名（0名）
管理者 1名（課長兼務・指導第一課所属）
副管理者 1名（課長兼務・指導第二課所属）
相談支援専門員 2名（生活支援員兼務・生活介護所属）
1名（生活支援員兼務・就労継続支援B型所属）

### 3 利用状況

- (1) 計画相談 101件
- (2) 継続支援（モニタリング） 90件
- (3) 対象者別利用状況

#### ア 18歳以上の障害者

	計画相談	継続支援(モニタリング)
自立センター	55件	74件
上記以外	23件	12件
合計	78件	86件

#### イ 18歳未満の障害児

	計画相談	継続支援(モニタリング)
合計	23件	4件